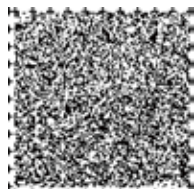




みんなの議会



戸倉小学校4学年。稲刈りに挑戦しました。
冠着山をバックに、ハイポーズ！



(音声コード)

9月定例会	2
一般質問	4
動議・討論	13
請願・陳情	14

令和6年9月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■会期 19日間（9月2日～9月20日）

9月定例会の議案は

市長提出議案	15件
委員会提出議案	7件
請願・陳情	7件

議案等の審議の結果は、千曲市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、ホームページの「議会日程」の中で公表しています。



議会日程

Pick up 2

新型コロナウイルス定期接種事業について

社会文教
常任委員会

新型コロナウイルスワクチン接種は、高齢者インフルエンザ予防接種と同様に予防接種法上の定期予防接種（B類疾病・自己負担あり）として65歳以上の方等を対象に実施する。市では個人の重症化予防等を目的に接種費用の一部を助成する。

事業内容は次の通りです

① 助成対象者は、

- 65歳以上の方。
- 60歳以上65歳未満の心臓、腎臓、呼吸器または免疫不全の身体障害者手帳1級の認定を受けている方。

② 実施期間と接種場所は、

令和6年10月から令和7年3月まで、市内の各医療機関で実施。

③ 自己負担額は、

2千円。対象者のうち、生活保護受給者等については全額助成。

④ 助成する想定人数は、

約1万1千人。（65歳以上人口 約2万人）

⑤ 周知方法は、

市ホームページ、市報等。



新型コロナウイルス接種費用の一部を助成する

Pick up 1

令和6年度一般会計補正予算のうち「新戸倉体育館整備・運営事業費」について

総務
常任委員会

令和10年度開催「国民スポーツ大会」のハンドボール会場として間に合わせるため、整備運営事業者の選定を進め、建設費と整備後15年間の運営経費、備品代を含む56億5千万円を債務負担行為限度額として計上した。委員会では反対討論もあったが、賛成多数で可決された。

事業方式PFIとは。

公共事業を実施するための手法の一つで、民間の資金と技術力を活用し、設計、建設、維持管理、運営までを一括して発注する整備運営手法。

債務負担行為の内容は、

債務負担行為とは将来にわたる債務を負担する行為で、当該事業は整備費40億円と整備後15年間の運営経費15億円、備品代1億5千万円の56億5千万円を限度額として設定した。

市の実質負担額は30億円だが増額は可能か。

財政推計上30億円が上限である。

要求水準書に見合った体育館はできるのか。

規模は小さくせざるを得ないが、よりよい施設にしたい。



戸倉体育館エリアの整備方針

Pick up 3

令和6年8月千曲市豪雨災害に対する復旧費（農地・林道・道路）の補正予算について

経済建設
常任委員会

8月24日、25日の豪雨により、八幡娵捨地区を中心に農地法面崩落や道路地割れなどの大きな被害が出た。委員会では災害現場の現地視察を行い、補正予算災害復旧費5100万円を認め迅速な対応を求めた。

農林水産施設の災害状況と災害復旧費は、

農地災害復旧費は農地法面崩落など19か所について2250万円。林道災害復旧費は林道8路線で2020万円。早期の復旧が必要であり、冬季は復旧工事の施工ができないため手分けしてそれぞれの業者に委託して進める。

道路橋梁災害復旧費は、

八幡地区の法面崩落、土砂撤去など災害復旧費で830万円計上した。

八幡本郷・佐野小坂浄水場の災害は、

取水堰堤の損壊や取水口への土砂流入による被害があったが既決予算で対応した。



八幡地区 農地の法面崩落



八幡地区 林道の地割れ



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針について、答弁を求めるもの。

今定例会では、
16名の議員が質問しました。

千曲市議会公式YouTubeチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。

ぜひご覧ください。
(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会YouTube 検索



日本共産党千曲市議員
前田 きみ子

学校給食費の無償化は

Q 学校給食費の無償化には3億円かかるとのことだが、大型開発を含む令和6年度当初予算は309億円であり、今後も新戸倉体育館に約56億円、(仮称)屋代スマートインターチェンジに約24億円等かかり、子育て支援としての学校給食費無償化は決して高い費用ではないと考えるが。

A 年間を通じて約3億円の財源が継続的・恒久的に必要な。国、県の動向を十分注視して対応していく。

子どもの医療費完全無料化は

Q 18歳までの市内の子どもの医療費は、医療機関・薬局で手数料500円がそれぞれかかる。長野市は来年度から完全無料化になるが。

【その他の質問】

- 避難所の学校体育館にエアコンの設置を
- 子ども誰でも通園制度について
- 姨捨棚田の保全について

A 近年は、子育て支援等の考えから、完全無料化を実施する市町村も増えていることから、前向きに検討していく。

災害と要支援者は

Q 災害時要支援者の避難所は、地域の公民館か市の指定避難所か。

A 地域防災計画で、指定緊急避難場所及び指定避難所には、地域の公民館も含まれていることから、避難所として活用する施設となる。地域の公民館は区長、自治会長の判断により開設することとなっている。



新政クラブ
堀内 太一

千曲市「こどもまんなか」宣言について

Q この宣言により千曲市はどのように変わったのか。

A 今年度4月に、妊娠期から子育て期にわたる子育て世帯への切れ目のない支援として、こども家庭センターを設置した。これにより母子保健と児童福祉の相談及びサポートを一体的に行う体制強化を図る。今後も経済的な支援強化にとどまらず、こどもの精神面への支援を強化し、意見表明の機会をもうけ、教育・保健・福祉等子育て支援の充実に取り組み。

災害対策について

Q 水害時には千曲川を境に東西分断される千曲市の対応は。

A 災害発生時は、必要に応じ



一志会
川嶋 敬信

旧学校給食センター跡地の収蔵庫について

Q 工事が3か月ストップした理由は。

A 土壌汚染対策法の指定で当初計画の場所を変更するため工事をストップした。

Q 産業廃棄物で処理できたのに、なぜより強い規制がかかる土壌汚染対策法の14条申請をしたのか。

A 敷地の一部で土壌汚染対策法の基準に適合しない数値が出たことから自主的に申請を行った。

清泉大学について

Q 千曲市へ開設するについての条件は。

A 大学側から要望のあった「旧更埴庁舎跡地の無償貸付」「来客用駐車場の確保」「試験ほ場の紹介」について検討している。

て「現地災害対策本部」を設置し、水害時には緊急輸送路(高速道路・幹線道路等)を基本に、東西への救援活動や物資等輸送を行う。備蓄品や資機材は市内各所にある防災備蓄倉庫に分散配備してある。地域防災拠点の整備は、課題はあるが最上位計画である「第三次総合計画」に位置付けていることから、課題解決に向け取り組んで行く。

【その他の質問】

- 第3子以上いる多子世帯に対する車などの支援について
- 千曲市庁舎に水害対策本部を置くことについて
- 移住・定住の促進助成について
- UI-Jターン就業創業移住支援事業補助金について



千曲市「こどもまんなか」宣言文

Q 旧更埴庁舎跡地を有償貸付した場合の金額は。

A 面積が約3300㎡で年額500万円弱になると試算している。

Q 大学開設に伴う千曲市の施策は。

A 農学部が開設されることにより、千曲市でも問題となっている「若者の流出」や「農業の担い手不足」に歯止めがかかることを大いに期待している。

新戸倉体育館建設について

Q 体育館の建設では「多目的・多機能を重視し、持続可能で質の高い施設整備」「ハンドボールコート2面」「スポーツ交流を核にした地域の活用による地域活性化」などを掲げているが、実現できるか。

A 公開した実施方針及び要求水準書案に関する事業者からの質問や意見、また56億5千万円の限度額を念頭に置いた事業者との意見交換の結果から想定される規模感としては、コート2面は難しい。



自由政策研究会
聖澤 多貴雄

移住・定住について

千曲市の現状と独自策は。

A ふるさと振興課に移住定住係を置き、首都圏相談会の開催やサイトの立ち上げ等、情報発信に努めている。

Q 人口減少・高齢化が著しい大田原地区の皆様による先進地域への視察や移住定住策で地域復活を目指す活動について、スタートアップに関わる支援やモデル事業として推進する考えはあるか。

A 地域づくり協議会は小学校単位を想定し、区単位では考えてはいないが、大田原地区全体として住民が主体となり積極的に取り組もうとしていることから、辺地の指定も受ける特殊な環境も考慮し、千曲市のモデルケースとなるように、市全

体の移住定住策のみならず、大田原地区独自の住民の取り組みの後押しを進めていきたい。

屋代南高校存続問題について

Q 千曲市も屋代南高校側にライフデザイン科を中心とした魅力ある学科改編の進言と、県教育委員会側には、想定される再編基準を明らかにするよう要望するのはいかがか。

A 懇話会において千曲市側委員から再編計画への疑義が出た。今後も学びの場の確保、適正な学校配置など二校存続を懇話会の場でしっかり主張していく。

市役所1階ガレリアのレイアウトについて

Q 人気の庁舎1階ガレリアの北側ガラス面に長机を新設して、机不足に対応しては。

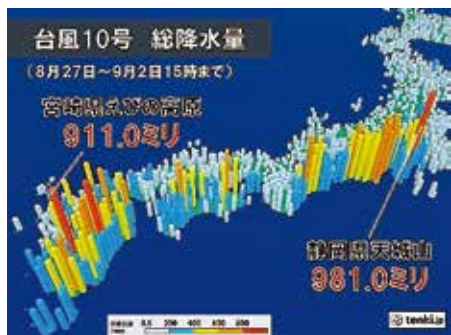
A これまでも多くの市民の方が利用いただけるよう改善してきた。引き続き工夫を重ねていく。



公明党
滝沢 清人

今後想定外自然災害が頻発

Q 「能登半島地震」「台風10号」を通し、多くの方がこれまでとは違う自然災害の脅威を感じ、様々な備えを始めた人が増えている。松本市では県下初の第1回「気候市民会議まつもと」を開催した。これは市民が気候変動への対策を議論するもので、無作為抽出の5000人から参加希望の274人に対し、地域・年齢などを厳選し、参加者49人を選び、信州大や市実行委員会とともに来年1月まで全6回を予定、成果を市民行動計画として市に提言する。これは画期的で、行政と市民が同じテーブルで議論、地域の安心・安全のために課題を共有し、お互いの対策を導き出す。この松本市の取り組みをどう捉えるか。



海水温30℃で迷走・ノロノロ台風10号の総降水量

A 防災意識が高まっている中だからこそ進めるべきと考える。前向きに検討する。

Q 庁舎窓口に、聞こえづらい人のために「軟骨伝導イヤホン」を設置すべきだ。

A 軟骨伝導イヤホンは、耳の入口付近の軟骨を振動させて音を伝えるイヤホンで、耳の穴を塞ぐことなく音を聴くことができるため衛生的で、大声で話し周囲に聞かれてしまうリスクを減らし、コミュニケーションを円滑にし、時間短縮も期待できるなど多くのメリットがある。前向きに検討していく。



公明党
柳澤 眞由美

小川市政の成果と課題について

Q 地域防災拠点・道の駅の整備推進は、復興計画の大きな柱だった。第三次総合計画に引き継いで進めた市長の決意は。

A 市議会からの提言を受け、復興計画、第三次総合計画に位置付けた。能登半島地震では災害対応車両やヘリコプターの発着場、支援物資の集配場等災害拠点として道の駅の活用を鑑みると、防災拠点としての必要性は以前より高まっている。平時は地域振興・観光拠点等活用が期待される。整備推進は、導入機能・事業手法、千曲市の実情を念頭に、周辺との調和や段階的な整備に留意する。

Q 防災力向上へ、今後の課題は。

Q 令和4年度の市の財政状況は県内19市中最低クラスであったが、5年度の決算と今後の見通しはどうか。

A 令和5年度の実質公債費比率は10.7%、経常収支比率は94.9%となり過去最悪となった。今後については令和11年以降は公債費が減少するため改善していく見込みである。

市職員の中途退職者の増加について

Q 市職員の中途退職者が増えている。過去5年間の退職者数はどうか。職場環境に問題はないか。市として対策を考えているか。

A 令和元年度8名、2年度6名、3年度6名、4年度11名、5年度25名。市として職員の働きがいや意欲を高めるよう環境改善に努める。

新戸倉体育館について

A 被害を最小限にするために、共助が重要であり、市民の皆様の意識の醸成を図る。

Q 区長から「地域の避難場所になる公民館に少しずつ備蓄していきたいが市の援助はないか」との問い合わせがある。助成制度はないか。

A 以前より声をいただいていた。コミュニティ補助金の制度の見直し等検討していく。

Q 「稼ぐ地域の仕組み」は構築できたか。

A 地域内経済の循環のために地域通貨・地域ポイント制度について、県の研究会に参加している。創業支援、企業誘致体制やふるさと納税の取り組みを強化してきた。

「その他の質問」

○アクティブシニアの健康増進・サービス向上のために、带状疱疹ワクチン接種費用半額助成制度の導入を

Q 新戸倉体育館については56億5千万円の債務負担行為限度額が提出されたが、ハンドボールコート2面を確保する基本構想は守れるのか。

A ハンドボールコート2面の提案も可能となるよう検討してきたが財政上の理由から2面は難しいと考えている。

市長答弁に対する議長からの「発言取り消し勧告」について

Q 6月議会での市長の「感情的で人を見下す不穏当な発言」に対し議長から「発言取り消し勧告」が出されたが市長は拒否した。これは「議会軽視」ではないか。私の質問に対し市長は「たちが悪い・暴論である・狡猾なやり方である」等と発言したが、なぜ議会の場でそのような感情的な発言をしたのか理解に苦しむ。その内容について改めて発言の真意の説明を求める。

A 議会での発言は自由だと認識しているので議長の勧告に応じなかったが「議会軽視」ではない。具体的な発言の内容については答弁できない。



日本共産党千曲市議員
中村 恒彦

大型事業について

パブリックコメントは市民に探しやすい方法で周知し、事業計画の概要版も提示し、かかる費用も明示して行うべきだ。

A

SNSやケーブルネット等でも発信する。概要版は間に合う時はなるべく作成する。予算額を議会で認めていただく前に市民に示すのは適切でないと判断しているが、市民への提示に向けて研究・検討する。

Q

大型事業が目白押しだ。5年後、10年後の市の財政は大丈夫か。資材価格の高騰や人件費の上昇で事業の見直しは必要ないか。

A

令和11年度の合併特例債償還完了に向け公債費が減っていく、地方債償還額以上の借り入れをしないことを財政規律としており市債残高は確実に減っていく。将来負担を見越しているので見直しは考えていない。



自由政策研究会
荻原 光太郎

国道18号バイパス建設促進

Q

都市計画道路戸倉上山田線建設完成後、バイパス建設が先送りにならないか。

A

バイパスは国土交通省、都市計画道路は長野県が進めている事業で整備目的や効果も異なるため、先送りになることはない。

Q

上山田区間のトンネル掘削による温泉源への影響調査を国に代わって行い、その結果を住民大会などで示し、地域の理解と協力を得るべきだ。

A

上山田力石から八幡上町までの未事業区間約9kmの早期事業化も要望しているが、まずは稲荷山から篠ノ井塩崎までの区間を整備する。温泉への影響調査は事業費が多額となり、期成同盟会からの支出は現実的でない。費用と調査結果による事業促進効果を検証し、今後検

奨学金について

高等教育の受益者は社会であり、国や市が負担するのは当然。千曲市でも、意欲がある学生を応援する給付型奨学金制度の創設をしては。

A

県でも給付型奨学金制度が実施され、他の自治体でも設立されている。限られた原資の中で、現行制度の奨学金の適切な運用を図っていく。

高齢者の交通について

Q

シニアカーのレンタルや購入に補助を。

A

要介護や要支援の方に介護保険でレンタルの制度がある。購入補助は研究する。

Q

デマンド型乗合タクシーは自宅まで送迎できないか。

A

安いタクシーとなり交通事業者への悪影響が懸念されるが、福祉の観点から何らかの施策を講じたい。

討する。

命を守る教育

Q

いじめを受けた著名人の新聞記事が、シリーズで連載された。児童、生徒に是非見て欲しい。市内小中学校でのNIE（新聞を教材にする教育）の状況は。

A

小学校では国語、社会、中学校では社会の授業で実践している。記事の選択は担任、教科担任が行い、新聞社によって内容等の取り扱いが異なるので、偏りがないようにしている。

Q

中学校で普通救命講習会を行い、地域社会での万一の事故に備えて欲しい。

A

保健体育で心肺蘇生法やAEDについて、動画視聴とテニスボールを使った胸骨圧迫の体験をしている。戸倉上山田中学校では、生徒の提案で総合学習の時間に消防署員による普通救命講習を行った。



新政クラブ
中村 眞一

災害時の避難連絡網と避難行動について

市担当者各区長との緊急連絡網は。

A

メール配信グループを本年度より運用しているが、災害時には直接電話連絡する。

Q

具体的な避難行動計画は事前にできているか。

A

個別支援計画書には、声掛けや避難誘導などの支援内容等を記しているの、それに基づき避難行動をしていただく。

Q

地区防災訓練では避難行動訓練の伴う実践的な訓練を。

A

各地区の実情に即した訓練を計画していただいているが、個別支援計画を活用した実践的な訓練の実施についても呼びかけたい。

各区長は地域の課題や要望を地域要望として毎年申請しているが



一志会
田中 秀樹

地域防災拠点・道の駅整備事業について

Q

道の駅（地域振興施設）の必要性をどう考えているか。

A

基本構想では、八幡地区の国道18号バイパス沿いを候補地とし、あみずを始めとした果樹や野菜等の千曲市の特産物の販売、6次産業化を見据えた加工品の販売等を段階的に推進し、千曲川ワインバレー等との連携も踏まえ、雇用の創出に寄与する農業・観光振興の拠点が必要としている。

Q

道の駅が「地域振興」施設となるために何が重要と考えるか。

A

財務においては身の丈に合った段階的な投資が必要であり、収益においては閑散期の集客対策を講じることができる経営能力の高い人材を確保することが重要と考える。そのため、設計・建設に先立ち管理運営事業

地域要望の件数と実施率は。要望件数は令和3年704件、4年651件、5年686件で、実施率は3年26・8%、4年22・3%、5年24・3%。

A

小規模修繕の対象事業と申請ルールは。

A

市道、農道の舗装修繕、道路側溝や水路の補修の他、ガードレールの修繕等が対象で、小規模修繕申出書をもって申請。

Q

幅員4m未満の生活道路の改善策は。

A

市の施工は財政的に難しいので、原材料を市が支給し、地元による工事施工の方法もある。



総合防災訓練の様子

Q

地域防災拠点とはどのようなものか。

A

周辺の指定避難所等と連携し、一次避難や情報の収集・発信を軸とした地域の防災拠点とする方針である。今年1月の能登半島地震における災害対応車両の発着場、支援物資の集配場等の災害拠点としての道の駅の活用を鑑みると、防災拠点としての必要性は以前より高まっており、国の動向等も注視しながら遅滞なく進めたいと考えている。



道の駅（長野市中条）



無会派
大澤 洋子

小中学校の給食費無償化を

物価高騰や賃金格差の拡大により、特に若い子育て世代への支援として給食費無償化は大変有効であり重要。すでに全国各地43%の自治体が実施しているが市の所見は。

A

物価高騰に伴う給食購入材料費の一食あたりの公費負担額は令和4・5年度15円、本年度34円。無償化を実施するには年3億円の財源が継続的・恒久的に必要となり、国による財政支援がないと難しい。

学校給食への食材を地元農産物で

食料自給率を高める農業政策の期待が強まっている。地産地消の推進の強化策を。

A

市民団体と連携した地元産食材を使った郷土食の伝承



無会派
宇田川 弘子

大正橋下流の右岸堤防、決壊したら

市は最悪を想定しているか。

A

想定し浸水ハザードマップを令和3年全戸配布した。出前講座、防災講演会等、適切な情報発信で「逃げ遅れゼロ」につなげていく。

Q

市にできることは何か、市で戸上中学側の堤防補強はできないか。

A

堤防の管理者ではないので堤防拡幅は困難。路肩変状は今年3月に復旧等を終えた。堤防内部の安全性は確認された。

県道338号及び千曲駅までの一帯整備

内川区内の道路が拡幅される。市は経済効果を見込んでいるか。

A

試算は行っていない。整備効果は千曲駅へのアクセス向上、周辺地域の物流、人的交流の活性化、交通安全の確保面でも効果が大きい。



自由政策研究会
林 慶太郎

カスタマーハラスメントへの対応について

対応マニュアルの整備状況は。

A

令和6年3月に制定。内容は随時見直ししており、7月にも一部改訂を行い、現在は第2版となっている。

Q

本マニュアルや行政としての対応を市民・市内企業に明示しているか。

A

明示はしていない。他市を参考に研究していく。

Q

学校等での対応は。

A

学校と保護者の信頼関係は教育に不可欠であり、ささいなことでも相談ができることを大切にしており、マニュアル等一律のものはない。教育委員会に相談があった際には、市のマニュアルを参考に対応したい。



カスタマーハラスメント対策啓発ポスター(厚生労働省)

ハラスメント対策と防止について

市長のハラスメント防止に対する取り組みと意思について。

A

自ら率先垂範してハラスメント防止に取り組む姿勢を見せることが風通しの良い職場づくりへの大きな一歩。トップと職員のコミュニケーションを図ることは重要と考え、話がしやすい雰囲気づくり、また、職員からの提言、意見にしっかりと傾聴するなど日々実践している。

Q

副市長の思いは。

A

孤立させないサポート体制が重要。問題が深刻化する前に弁護士への相談を早期に促すなど、組織全体で早期の対応をしていきたい。

A

時間をかけても粘り強く説明をしていく。

Q

市長就任後を振り返っての所見を。

A

就任当初は、議会との関係において意思の疎通が十分ではなく、すれ違いや混乱があったが次第に互いを尊重する関係を築けてきた。

Q

事業計画を変更することは市民の信頼を失うリスクもあるが。

A

総合計画や財政負担を考え、各種事業を進めているが、社会情勢や財政事情から事業を縮小・廃止することもある。その場合は市民や市議会に対し丁寧な説明を行い理解が得られるよう進めていく。

Q

税収増のための先行投資については。

A

住民福祉向上などサービスを低下させることなく持続可能な千曲市にするため、都市基盤整備など先行投資は必要不可欠と考える。



自由政策研究会
和田 英幸

小川市長の市政に対する考えを問う

「千曲市を変える」はできているか。

A

屋代地区のS・I・C事業、指定ごみ袋購入チケット廃止、上山田戸倉出張所設置などのほか、市役所内において安易な前例踏襲を無くす意識改革を図り、職員との対話の場を設けアイデアを取り入れた。

Q

批判や対立した意見に耳を傾けたか。

A

様々な意見に対しては前向きに捉えしっかりと耳を傾け丁寧な説明を行ってきた。議論を深め、より良い政策事業ができるよう努めている。

Q

行政改革となる公共施設個別施設計画をどのように進めるのか。



県道338号のイメージ『千曲 月の都線』

Q

綿半と再契約するか。契約期間が7年ある。適当な時期に検討する。

A

今年3月、更級地区の関係区長の連名で要望が出ている。地元の意向や合意形成の熟度に応じ地元と調整していく。

Q

更級小学校入口交差点と冠着橋をつなぐ道路を県に要望するべきではないか。

A

地元の意見、必要性や効果を整理し協議する必要がある。

Q

国道18号から千曲駅は市道だ。起点を千曲駅にするよう県に要望するべきではないか。

A

事業主体の県と相談し適切な時期に行く。

Q

いつ市民に知らせるか。

A

現在は年間1200万円、実現した場合は2200万円。一般開放することは難しい。

Q

おとりプラザプールの市民開放を

当初は市民開放されていたが、10年前から利用中止になっている。今ある施設を有効活用すべき。現在の維持管理費用と一般開放した場合の費用は。

動議

令和6年度千曲市一般会計補正予算 債務負担行為補正のうち 「新戸倉体育館整備・運営事業」 に関する修正案を提出

発議者 川嶋 敬信
宮下 繁明
早志 圭司

提案説明



川嶋 敬信

一般会計補正予算（第2号）には債務負担行為補正として、新戸倉体育館整備・運営事業56億5千万円が限度額として計上されている。しかし市の説明では、現状の体育館と同規模のハンドボールコート1面を想定しており、単なる建て替えでは、市民への説明が不十分ではないかと考える。また、今の工程では国民スポーツ大会に間に合わせるのには難しいとの声もある。50年間使用する体育館の整備については、未来の子どもたちのためにも、また利用者のためにも、そして地域のためにも構想通りにしっかり整備するべきである。そのような理由から、さらなる検討を求めるため「議案第52号 令和6年度千曲市一般会計補正予算（第2号）」の債務負担行為補正のうち、新戸倉体育館整備・運営事業を削除し修正するものである。



賛成討論
宮下 繁明

新戸倉体育館建設に反対するものではなく積極的に推進する立場であるが、今進められている体育館は基本構想にあるハンドボールコート2面ではなく1面の小さなものである。4月になって突然財政上の理由で1面になったが市民への丁寧な説明はない。5月のパブリックコメント28件の内容は全て2面を希望するものであり、スポーツ協会やホテル旅館関係を始め多くの市民の希望でもある。現在市の財政は過去最悪の状態だが、厳しい財政の時に無理をして中途半端なものを作るのは将来に禍根を残すことになる。令和10年の国民スポーツ大会は現在の体育館を改修して利用し、市財政が改善する見込みの令和11年以降に市民が望む立派な体育館を作るべきである。



反対討論
荻原光太郎

新戸倉体育館を含む総合運動公園構想は戸倉上山田地区の悲願であり、数年前から検討が重ねられてきた。温泉とスポーツによる健康増進施設として早期の建設が望まれている。物価上昇により竣工が遅れば遅れるほど建設費が膨らみ、市の財政を圧迫する。今着手しなければ、半永久的に建設は望めない。本事業はPFI方式で民間資金を活用し、国の有利な補助金や市債発行などにより、市の負担は毎年2億円で済む。新体育館は現体育館よりも規模が大きく、民間の運営によりサービスの充実も期待できる。ハンドボールコート2面規模にすると観客席がとれないとされている。また大きな大会が年に何回あるのか。過大な投資は避けるべきと考え修正案に反対する。

修正案の採決結果：否決

豆知識

債務負担行為とは

予算は単年度で完結するのが原則だが、後の年度においても歳出義務を負う行為（約束）をする場合は、あらかじめその行為をすることができる事項や期間、限度額を、議会の議決が必要な予算で決めておくこと。



自由政策研究会
坂口 吉一

小川市長の市政を振り返って

Q 所信表明を基に、この4年間の活動を振り返り、「行政のあり方」とは、という点と、併せて所感を伺う。

A 私が市長に就任した当初に立ち返ると、「東日本台風災害からの復興」と「新型コロナウイルス感染症」への対応・対策が任期前半の二年間のほとんどであった。所信表明では、「市民目線に立ち、市民の皆様がどう感じるか想像力を持って常に先を考える丁寧な行政運営を心掛ける」を基本姿勢・方針に掲げた。「おでかけシェアアトック」や「ようこそ市長室」、住民参加型システム「ポリネコ！CHIRKUM A」等ICTも活用し、市民に寄り添う政策を丁寧に進め、先送りできない課題にはスピード感を持って取

り組むことができた。これが「行政のあり方」と考え、それを実行するよう心掛け、何とかやり遂げられているのではないかというのが所感である。

若者の政治参加について

Q 7月に行われた市議会議員選挙において投票率47・67%であったが、それについて年代別投票率を伺う。

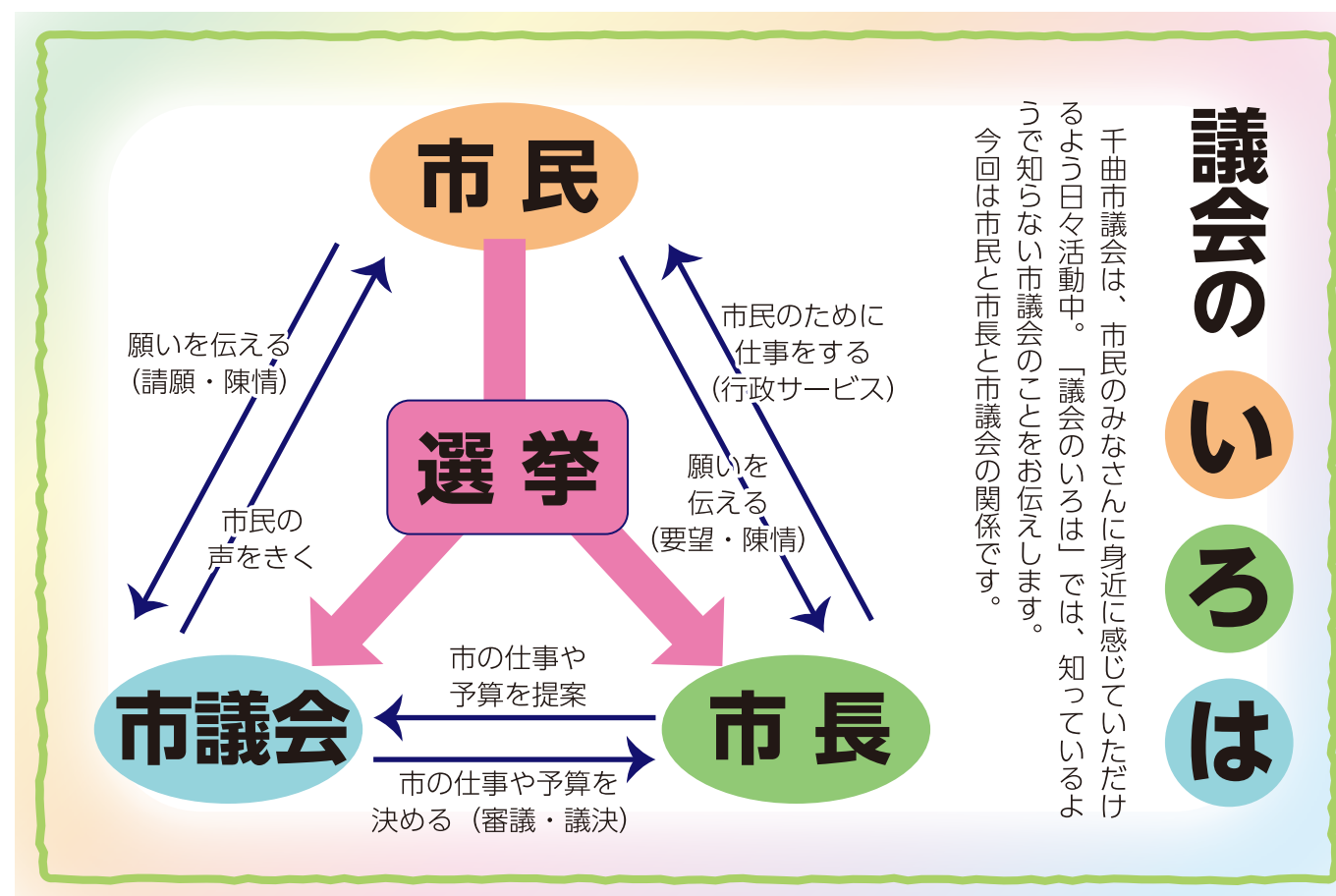
A 今回の市議会議員選挙において、年代別投票率は10代24・60%、20代27・67%、30代36・05%、40代41・87%、50代50・57%、60代61・00%、70代62・59%、80代51・40%、90代21・34%となった。

【その他の質問】

○市の情報発信について
SNS（LINE）について
○子どもの居場所について

議会のいろは

千曲市議会は、市民のみなさんに身近に感じていただけるよう日々活動中。「議会のいろは」では、知っているようで知らない市議会のことをお伝えします。今回は市民と市長と市議会の関係です。



議員活動

宇和島市議会 正副議長が表敬訪問

8月8日、姉妹都市である宇和島市議会の松本議長、梶山副議長が就任あいさつのため当市を訪問された。金井議長、北川原副議長が面会し交流を深めた。



新国道上田篠ノ井間 建設促進期成同盟会による 要望活動

8月7日、長野県と国土交通省関東地方整備局長野国道事務所に対し、金井議長が早期建設の要望活動を行った。



千曲市総合防災訓練に 参加

9月8日、千曲市総合防災訓練が重点地区の八幡小学校で実施され、震度6強の大地震を想定した住民参加型訓練や地震体験などに参加した。



議会改革アドバイザー による議員研修会の開催

8月9日、千曲市議会改革アドバイザーの岩崎弘宜氏を講師に迎え、議員研修会を開催した。決算審査のポイントや議会改革などについて学んだ。



請願陳情

請願第3号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願

採決結果：採 択

(意見書提出)

請願第4号 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

採決結果：採 択

(意見書提出)

陳情第5号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情

採決結果：採 択

(意見書提出)

陳情第6号 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情

採決結果：採 択

(意見書提出)

陳情第7号 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情

採決結果：採 択

(意見書提出)

陳情第8号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情

採決結果：採 択

(意見書提出)

陳情第9号 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情

採決結果：不採択

※詳しくは、千曲市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。
賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、ホームページの「議会日程」の中で公表しています。



議会日程



千曲市キャラクター
『あん姫』



小椋 公一さん
(杭瀬下)

市議選の投票率低下を憂う

47.67%。7月の市議選の投票率である。前回の55.79%と比べると約8%ものダウンである。新人が多かったにもかかわらずである。低投票率の要因の一つであったと思われるのが、今年の連日の猛暑であった。しかし、国政とは違い、市政にあっては、身近に課題があり、有権者である我々も、関心を持っていることが必要ではないだろうか。コロナ禍以降は多くの補助金を投入したが、そのツケはどうするのか？人口減の中、今後の市政の取り組む課題は？多発する災害への備えは？等々、限られた資源の配分を計画的に執行すべき方途を示す代表者を選ぶ選挙であったと思う。

現職は、ここまでの実績と取り組む施策を示す。新人は、市の将来像と自身の強味を生かす方途を示す。候補者選挙公報には、期待する内容が少なかったと感じた。投票率向上には、市民と候補者との緊張感が必要ではないかと思う。

次回12月 定例会予定

(会期 25日間)

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26 本会議 開 会	27	28	29	30
12/1	2	3 本会議 一般質問 (個人)	4 一般質問 (個人)	5 一般質問 (個人)	6	7
8	9	10 委員会 総務	11 委員会 社会文教	12 委員会 社会文教	13 委員会 経済建設	14
15	16 委員会 経済建設	17	18	19	20 本会議 委員長報告 討論・採決	21

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会だよりについてご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、読者アンケートを実施します！
右記コードを読み取り、アンケートにご回答ください。
みなさまの貴重なご意見をお待ちしています。



アンケートはこちら

議会を傍聴しよう

どなたでも傍聴できます。
市役所5階の傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



改選後初となる9月定例会では、16名の議員が一般質問に立ち、市政を問いました。

質問内容や議案の議決結果など、本定例会の成果をお伝えする従来の広報活動に加え、今期より付託された広聴では、市民の皆様の声を広く聴き、市政に反映していくことが求められています。

改選後という一つの節目に、是非ともこの議会だよりをお読みいただき、本定例会の成果に対するご意見ご感想をいただければありがたいです。

(林 慶太郎)

議会広報特別委員会

委員長 田中 秀樹
副委員長 林 慶太郎
委員 柳澤真由美
川嶋 敬信
中村 恒彦
宇田川弘子
堀内 太一
坂口 吉一